City of Kyoto Symphony Orchestra

共に響き合う、京響

京都市交響楽団

The 684th Subscription Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra

京都市交響楽団 第684回 定期演奏会

シルヴァン・カンブルランの ブルックナー「ロマンチック」と モーツァルト「パリ交響曲」

2023
11/25(土)
午後2時30分開演
（午後1時30分開場）

開演前
（午後2時ごろから）
は指揮者による「プレトーク」でお楽しみください。
「プレトーク」はホール・ステージ上にて開催します。

京都コンサートホール
京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

Sat, November 25, 2023 / 2:30PM
Kyoto Concert Hall

指揮：
シルヴァン・カンブルラン
Conductor: Sylvain Cambreling
©Marco Borggreve

モーツァルト：
交響曲 第31番 ニ長調 K.297「パリ」

ブルックナー：
交響曲 第4番 変ホ長調「ロマンチック」（1888年稿 コーストヴェット版）

Mozart: Symphony No.31 in D major K.297 "Paris"
Bruckner: Symphony No. 4 in E-flat major "Romantische" (1888 version, ed. B. Korstvedt)

助成：文化庁 Agency for Cultural Affairs, Government of Japan
文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業（創造団体支援））
独立行政法人日本芸術文化振興会

©京都市交響楽団

入場料 2023.9/23(土)祝から発売
Ⓢ5,500円 Ⓐ5,000円 Ⓑ4,000円 Ⓒ3,000円 Ⓟ2,000円（舞台後方席）

「U22」（当日残席がある場合のみ発売）
Ⓢ2,000円 Ⓐ1,500円 Ⓑ1,000円 Ⓒ1,000円
※ 22歳以下のお客様が対象です。開演1時間前から発売（当日券売場にてお買い求めください）。
電話や窓口での事前予約はできません。席種は選べますが、座席指定はできません。
ご購入及びご入場の際には年齢の確認できる証明書をご提示ください。

チケットご予約
- 京都コンサートホール（075）711-3231
- ロームシアター京都（075）746-3201
- 24時間オンラインチケット購入 https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/
- チケットぴあ https://t.pia.jp/　Pコード 227-675
- ローソンチケット https://l-tike.com/　Lコード 53858

お問い合わせ
京都市交響楽団（075）222-0347 https://www.kyoto-symphony.jp/
京都コンサートホール（075）711-3231 https://www.kyotoconcerthall.org/
◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。

◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」（有料・要予約・定員10名）をご利用ください。（お子様お1人につき1,000円／2023年11月17日までに京響075-222-0347へお申し込みください）
◆10枚以上でのチケットお申し込みには団体割引（10%OFF）があります。京響（075-222-0347）までお問い合わせください。
◆障がいのある方ご本人及び介助の方1名に限り1割引いたします。京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱います（窓口で手帳等の証明書をご提示ください）。

関西から文化力

主催：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団　京都市 CITY OF KYOTO　協賛：ローム株式会社　協力：株式会社ドルチェ楽器　後援：（株）エフエム京都
発行：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。

ROHM SEMICONDUCTOR

京都市交響楽団

第684回 定期演奏会

The 684th Subscription Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra

読売日本交響楽団で常任指揮者を9年間務めたのち、桂冠指揮者となったシルヴァン・カンブルラン。今回はオーストリアとドイツの作曲家のプログラムで4年ぶりに京響に帰ってきます。カンブルランは得意とするメシアン、ベルリオーズでたくさんの名演を残してきましたが、同時に実は彼のブルックナーにも定評があり、CDを何枚もリリースしています。それはフランクフルト歌劇場、シュトゥットガルト歌劇場や南西ドイツ放送交響楽団を経て現在ハンブルク交響楽団で首席指揮者を務めている一連のドイツのオーケストラでの活動に顕著に現れています。モーツァルトの「パリ交響曲」はモーツァルトが就職活動のため訪れたマンハイムで近代的なオーケストラに影響を受け、委嘱主であるパリの演奏団体にちなんでフランス様式を取り入れて作曲された、彼にとって最初の大編成の交響曲になります。後半のブルックナーは、よく版が示されます。おもにノヴァーク版とハース版。この4番に関してはマーラー版（出版されていない）というのも存在するとのこと。1874年に作曲、1878年に改訂、1880年に更なる改訂、そして1886年にも少しの改訂がなされたそうです。作家の創造にストップはかけられません。更に納得のいくものを生み出し続けるのが作家の宿命です。今回は、1888年稿をもとに音楽学者ベンジャミン・コーストヴェットが校訂した版で演奏します。改訂を重ねて完成した「ロマンチック」。じっくりとお聴きください。

指揮　シルヴァン・カンブルラン　*Conductor:* Sylvain Cambreling

©Marco Borggreve

フランスの指揮者シルヴァン・カンブルランは壮大なアイデアに富む音楽家である。刺激的かつ色彩感あるドラマティックな演奏で聴衆の心を掴む能力に長ける一方で、彼の独創性は音楽学の徹底的な知識に根ざしている。バーデン=バーデン・フライブルクSWR交響楽団首席指揮者及びクラングフォーラム・ウィーン首席客演指揮者として、カンブルランは、想像力豊かなプログラムと現代音楽への積極的な取り組みへの自らの天賦の才能を十分に証明した。2018/2019シーズンの初めにカンブルランはハンブルク交響楽団の首席指揮者に就任、2022年の契約更新で2027/2028シーズン末まで延長された。読売日本交響楽団では2010−2019年まで常任指揮者を務め、2019年4月からは桂冠指揮者に就任。それ以前にも、バーデン=バーデン・フライブルクSWR交響楽団の音楽監督を務めた（1999−2011年）。カンブルランは、2012−2018年シュトゥットガルト歌劇場の音楽総監督、1993年にフランクフルト歌劇場音楽監督に就任する前の10年間は、ベルギー王立モネ劇場の音楽監督も務めた。革新的さが目を引いたその演目には、ザルツブルク音楽祭での「ペレアスとメリザンド」「トロイアの人々」、フランクフルトでの「ヴォツェック」「フィデリオ」と「ニーベルングの指輪」があげられる。また、パリ国立オペラでも「アッシジの聖フランチェスコ」「ペレアスとメリザンド」「カーチャ・カバノヴァ」「皇帝ティートの慈悲」「三つのオレンジへの恋」「ドン・ジョヴァンニ」「フィガロの結婚」「シモン・ボッカネグラ」「トロイ人」「ルイーズ」「椿姫」「アリアーヌと青ひげ」「ヴォツェック」など、幅広いレパートリーを指揮している。客演したオーケストラには、ウィーン・フィル、ベルリン・フィル、トーンハレ管、及び、フランクフルト、ハンブルク、ベルリン、ハノーファー、ケルン、コペンハーゲン、ストックホルム、ロンドンの各放送交響楽団のほか、フィルハーモニア管、BBC響、ベルリン・ドイツ響、ミュンヘン・フィル、ウィーン響、パリ管、オスロ・フィルがあり、北米でもクリーヴランド管、ロサンゼルス・フィル、サンフランシスコ響、モントリオール響を指揮している。創意に富んだプログラミングを大いに好むカンブルランは、オリジナリティ溢れる企画でも知られている。選曲では、例えばハイドンとメシアン、あるいはベルリオーズ「ファウストの劫罰」をシューマン「ゲーテのファウストからの情景」とともに、という対照的だが関連性のある作曲家や作品の並置を得意とし、最も大胆な彼のプロジェクトの中には、メシアンの3大作品「トゥーランガリラ交響曲」「彼方の閃光」「我らの主イエス・キリストの変容」の3夜連続演奏会がある。2009年、ドイツのエコー・クラシック音楽賞「年間最優秀指揮者賞」、及び最優秀オーケストラ作品CDに贈られる2009年度ドイツ・シャルプラッテン賞を受賞。さらに2010年SWR響とのメシアン作品の録音でMIDEM現代音楽賞を受賞。2007年にはレジオン・ドヌール勲章シュヴァリエ、2012年にはドイツ連邦共和国功労勲章（功労十字小綬賞）を授与された。

京都市交響楽団　City of Kyoto Symphony Orchestra

1956年に創立し、日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つオーケストラ。2015年、第12代常任指揮者の広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞。同年6月、広上淳一指揮のもとヨーロッパ公演で成功を収め、2016年は創立60周年記念国内ツアーを開催し、平成28年度地域文化功労者表彰を受ける。2017年「第37回音楽クリティック・クラブ賞」本賞及び「第29回ミュージック・ペンクラブ音楽賞」クラシック部門「現代音楽部門賞」を受賞。2020年4月、第13代常任指揮者兼芸術顧問に広上淳一（2022年3月まで）、首席客演指揮者にジョン・アクセルロッド（2023年3月まで）が就任。2008年4月から2022年3月まで14 年間にわたり常任指揮者を務めた広上淳一のもとでは、数々の名演を生み出して黄金時代を築き上げた。2023年4月から第14代常任指揮者に沖澤のどかが就任。さらに2024年4月からは首席客演指揮者にヤン・ヴィレム・デ・フリーントが就任予定。京響は今、新たなステージへ向けて、名実ともに文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。

©井上写真事務所　井上嘉和

次回予告

©Rowland Kirishima

2023.10/13㊎から発売！

特別演奏会「第九コンサート」

京響桂冠指揮者 大友直人が指揮する第九の世界

年の瀬に優雅なひとときを大切な人と、そして京響と一緒にベートーヴェンを謳いましょう

日時　2023年12月27日㊌・28日㊍ 午後7時開演　会場　京都コンサートホール
指揮　大友 直人（桂冠指揮者）　合唱　京響コーラス
独唱　小林 沙羅（ソプラノ）　鳥木 弥生（メゾ・ソプラノ）　西村 悟（テノール）　大西 宇宙（バリトン）
曲目　ベートーヴェン：交響曲 第9番 ニ短調 作品125「合唱つき」
入場料：S 5,500円　A 5,000円　B 4,000円　C 3,000円